

仁養漢書行氏

萬應同上

安寬義春秋正

保德兼倫論

寧長義向長五輔在嗣

慶仁後漢書

德永永德出

曆觀後漢書

遐長貞觀政

齊萬尚書

弘建晉書

久應會要

雍和在淳記

至正禮記

觀仁尚書公良

萬寧行氏

安長義五行大

昭長宋書光兼

慶長毛詩注疏高長在輔二

咸保桓子新論高

德弘在帝範

曆萬後漢書在

和元唐書長成

齊治禮記正

乾嘉藝文類

久化隋書傳

寶安後漢書

至安貞觀政

萬長修文殿御覽

安延禮記

保祐義孝經述

寧永尚書

慶安周易注疏

德保尚書

曆久後漢書

曆長後漢書

養仁隋書兼

弘元後漢書在淳

明長禮記

祥和修文殿御

寶仁文選

〔鹽尻二十五〕一近世の年號古へ勘文に出て被行ざりし號多し今其一二を抄す

天和 貞治改元の時文章博士在成考の内にあり又延元の改元の時式部大輔長員の考貞和改元に文章博士宗範の考觀應改元に式部大輔長員の考の内等に出し

慶長 元弘改元の時文章博士在淳の考正慶の改元に文章博士在成の考等に出たり

慶安 正慶改元の時正三位在登考の内にしたり

右の外に猶近年の年號を昔も書出されしが難ありて止みぬるを再び勘文を奉りて天下の